論理国語　単元指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和○年○月○○日（○）○限 | 場所 | ２年○組教室 |
| クラス | 2年○組（○○人） | 授業者 | ○○　○○ |
| 科目名 | 論理国語 | 単元名 | レポートを書く |
| 使用教材 | 求人票、企業や学校のHP | 使用教科書 | 「新編 論理国語」（大修館書店） |
| 教材観 | 生徒の授業用タブレットが導入されたことで、授業中でも手軽にＷＥＢページやデジタルコンテンツにアクセスできるようになり、生徒の授業用タブレットや個人の端末でWEB上での求人票の閲覧が可能になった。企業の求人票やＨＰ、大学・短期大学・専門学校のＨＰには多くの情報が掲載されており、その情報を実用的な文章として扱うことで、「読むこと」や「書くこと」の領域の学習をしつつ生徒の進路意識を高め、職業観や勤労観を育むキャリア教育にもつなげることができると考える。 | | |
| 生徒観 | 全体的に落ち着いた雰囲気で授業に臨むことができ、課題や教員の指示に対して真面目に取り組む。また、ペア活動やグループ活動では積極的にコミュニケーションを取ることができる集団である。一方で、指示された学習に取り組むことは得意であるが、自ら課題を発見し、解決するといった自身のオリジナリティが求められるような活動を苦手とする生徒が多い。2年生の後期を迎え、多くの生徒が自身の進路について具体的に考え始めているが、自ら進んで企業調べや学校調べをすることができる生徒は少ない。 | | |
| 指導観 | 1年次から「読むこと」「書くこと」の学習の一環として企業調べや学校調べを実施しており、調べた内容をパワーポイントにまとめて簡単な発表をしたことはあるが、レポートとして長文でまとめる経験はしていない。本校の生徒の特長として、文章を書くことに苦手意識を持っている生徒が多く、3年次の就職・進学の個別指導の際にも小論文や志望理由書を書くことに苦戦する生徒が多いため、2年次のうちに長い文章を書ききる機会を設けておきたい。本単元において実用的な文章の記載内容を整理し、まとめた情報をもとに自ら問いを立て、問いに対しての分析をレポートにまとめることで「読むこと」や「書くこと」の領域の学習をしつつ、自身の将来と向き合うきっかけを作る一助としたい。 | | |

１　単元の目標

1. 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〔知識及び技能〕⑴エ
2. 文章に含まれている情報を重要度や抽象度によって整理し、理解を深めることができる。

〔知識及び技能〕⑵イ

1. 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。　　〔思考力、判断力、表現力等〕A⑴ア
2. 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が明確に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　〔思考力、判断力、表現力等〕A⑴カ
3. 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

２　単元の言語活動

自身が興味をもった企業・学校について自ら問いを立て、様々な観点から調べ、調査結果をレポートにまとめる活動。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A⑵ア）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。　　　　⑴エ  ②文章に含まれている情報を重要度や抽象度によって整理し、理解を深めている。　　　　⑵イ | ①文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が明確に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えている。　　　　　　　　A⑴カ  ②実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。　　　　　　　 A⑴ア | ①分析結果をレポートにまとめる際に、説明の仕方や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 |

４　指導と評価の計画（全４時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
| １ | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。  ・求人票や企業HP、学校HPを閲覧し、最も興味のある企業/学校を選ぶ。  ・「企業研究ワークシート」「学校研究ワークシート」に、  求人票や企業HP、学校HPから読み取った内容を記入する。 | 〔知識・技能〕② | 「記述の点検」 |
| ２（本時） | ・レポートを書く際の問いの立て方について学ぶ。  ・「企業研究チェックシート」「学校研究ワークシート」にまとめた情報を基に、自ら問いを立てる。 | 〔思考・判断・表現〕② | 「記述の点検」 |
| ３ | ・立てた問いに対しての分析をレポートにまとめる。 | 〔知識・技能〕①  〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ４ | ・レポートを基に他の生徒との交流を行う。  〇他者の作成したレポートを確認し、自身のレポートとの内容の比較を行う。  ・学習の振り返りをする。  ○振り返りシートを活用し、本単元において新たに学んだことや再確認できたことをまとめる。 | 〔主体的に学習に取り組む態度〕① | 「記述の点検」 |

【単元の流れ】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
| １ | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。  ・生徒用タブレットで「Handy進路指導室」「企業HP」「学校HP」を閲覧し、最も興味のある企業または学校を決める。  ・「企業研究ワークシート」「学校研究ワークシート」に、求人票や企業HP、学校HPから読み取った内容を記入する。 | ・求人票や企業/学校HPなどの実用的な文章をもとにレポートを作成することを伝える。  ・選ぶ企業/学校は自分が就職/進学したいと考える企業/学校にする。  ・ワークシートの項目すべてに読み取った内容を記入するよう伝える。 | 〔知識・技能〕②  「記述の点検」ワークシート  ・選んだ企業/学校について、求人票やＨＰの内容をワークシートの項目に合わせて適切に整理できているか点検する。 |
| ２（本時） | ・レポートを書く際の問いの立て方について学ぶ。  ・ワークシートにまとめた情報をもとに自ら問いを立てる。 | ・レポートに取り組む前に、例題を用いて問いを立てる練習をする。 | 〔思考・判断・表現〕②  「記述の点検」ワークシート  ・記載内容を点検する。 |
| ３ | ・問いに対しての分析をレポートにまとめる。 | ・レポートの構成は教科書p157の例を参考にするよう伝える。 | 〔知識・技能〕①  〔思考・判断・表現〕①  「記述の分析」レポート  ・ｐ157の作成例の構成に従って、問いに対して適切な根拠を示して結論を述べているか点検する。 |
| ４ | ・レポートをもとに他の生徒との交流を行う。  ・学習の振り返りをする。 | ・他者の作成したレポートを確認し、自身のレポートとの内容の比較を行う。  ・他者のレポートとの比較の中で、自身のレポートの優れた点や改善点を見出す。  ・振り返りシートを活用し、本単元において新たに学んだことや再確認できたことを文章にまとめる。 | 〔主体的に学習に取り組む態度〕①  「記述の分析」振り返りシート  ・振り返りシートの内容から、本単元での学びを踏まえて自身の学習を調整しようとできているか点検する。 |

≪本授業における評価の実際≫

５　観点別学習状況の評価の進め方

(1)［知識・技能］の評価

[知識・技能]①の「文章の種類に基づく効果的な段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている」状況を「レポートの作成例の構成に従ってレポートを記述できる」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、レポートの記述を点検して評価する。

レポートの作成例の構成に従ってレポートを記述できていない状況をCと捉え、個別に声をかけて、記載内容を指摘し、適切な記述ができるよう促す。

また、[知識・技能]②の「文章に含まれている情報を重要度や抽象度によって整理し、理解を深めることができる。」状況を、「求人票や企業HP、学校HPに記載されている内容をワークシートの項目にあわせて適切に振り分けることができる」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、ワークシートの記述を点検して評価する。

ワークシートの項目に適切に記載できていない状況をCと捉え、個別に声をかけて、記載内容を指摘し、適切な記述ができるよう促す。

(2)［思考・判断・表現］の評価

[思考力・判断力・表現力等]①の「文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が明確に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えている」状況を、「レポートを記述する際に他者に伝わりやすい文章作りを意識し、教科書の例文の構成に従い、根拠を明確にした文章を記述できている」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、レポートの記述を点検して評価する。

レポートの文章を書き進めることができない状況をCと捉え、例示に沿って書くよう促す。

また、[思考力・判断力・表現力等]②の「実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている」状況を、「学校や企業についてまとめた情報を整理して、様々な観点から問いを考えることができる」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、ワークシートの記述を点検して評価する。

問いを立てることができていない状況をCと捉え、個別に声をかけて問いを立てる際の着眼点を助言し、適切な問いを立てることができるよう促す。

(3)［主体的に学習に取り組む態度］の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「分析結果をレポートにまとめる際に、説明の仕方や表現の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。」状況を、「他者と自身のレポートを比較し、それぞれの優れている点や改善点を把握できている」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、振り返りシートの記述、自己評価を分析し評価する。

自身や他者のレポートを比較しての気づきや学びがまとめられず、努力を要すると判断する状況をCと捉え、振り返りシートの評価項目を参考に、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

６　学習指導案(２時間目/全４時間)

本時の目標：ア 設定した題材に関連する資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。　　　　　　　　　 〔思考力、判断力、表現力等〕

言語活動：ペアワークで立てた問いについて交流をする。

本時の展開：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入  ５分 | □前時の振り返りと本時の取り組み内容の確認 | ・前時の取り組みについて振り返りを行い、  　本時からは「企業研究ワークシート」「学校研究ワークシート」の内容をもとに問いを立て、問いについて調査・分析をしてレポートにまとめることを指示する。 |  |
| 展開①  １0分 | □取り組み内容の例示 | ・分析レポートの例を示し、どのような問いを立て、どのような分析・調査を行うのかの見通しを立てる。 | ・教科書ｐ157のレポートや、教員が提示したレポートを例として扱い、説明をする。 |
| 展開②  15分 | □問いの立て方を学ぶ。 | ・ワークシートでレポート作成の手順、問いの立て方について学ぶ。  ・ワークシートで問いを立てる練習をする。  ・立てた問いについて周囲の生徒と意見を交換し、問いを立てる際の着眼点を共有する。 | ・机間指導を通して生徒の記述内容を確認し、優れた内容があれば紹介し、問いを立てる際の着眼点を共有する。 |
| 展開③  15分 | ◎問いを立てる。 | ・前時までに記入している「企業研究ワークシート」「学校研究ワークシート」の内容を基に問いを立てる。 | 【目標アに対する評価規準と評価方法】  規準：「企業研究ワークシート」「学校研究ワークシート」の内容に対して、情報を整理した上で適切な問いを立てることができている。  方法：「記述の点検」（ワークシート、机間指導）  〔目標ア達成のための手立て〕  ・机間指導を通して作業の進んでいない生徒に助言をし、記述を促す。 |
| まとめ  ５分 | □次回の予告 | ・立てた問いに関してレポートを作成していくことを確認する。 | ・次回までに問いを立てておくよう指示する。 |